

CAMD セミナー

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia)

高速カップリング反応による

単寿命 PET 分子プローブの革新的合成法と生物学的活用

前理化学研究所分子イメージング科学研究センター副センター長
岐阜大学 名誉教授

鈴木 正昭 博士

平成 25 年 4 月 17 日(水) 午後 5 時 00 分～
第 2 研究棟 2 階会議室

演者は、抗生物質エリスロマイシンの全合成および超微量生理活性物質プロスタグランジン(PG)類の究極的な「3成分連結 PG 合成法」を世界で初めて達成し、これらの卓越した有機化学的業績を基に化学と生物学・薬学・医学との連携を深め、『学際的新科学領域（生体内分子科学）』を創成した（我が国のケミカルバイオロジー研究領域(学会)および日本分子イメージング学会創設の魁となった）。本講演は、この新たな境界領域研究の推進に必要な不可欠な短寿命 PET 分子プローブの革新的合成法とその応用・展開を中心に、多彩な疾患関連高機能分子プローブの創製ならびに標的タンパク質の新同定法の開発に関するものである。これらの成果は、我が国発の学際研究分野の先駆的かつ先端的偉業として権威ある学術論文や表紙等で紹介され、また、新高速 11C 標識法は、核医学研究領域に新風を吹き込むとともに、2005 年度より始まった我が国の国家プロジェクトである「分子イメージング研究」の中核的拠点(理研)の機軸技術として活用・展開されている。長寿医療研究センターのポテンシャルを重ねて新たな発展を図りたい。

連絡先:放射線診療部/脳機能画像診断開発部
部長 伊藤健吾(内線 7503)